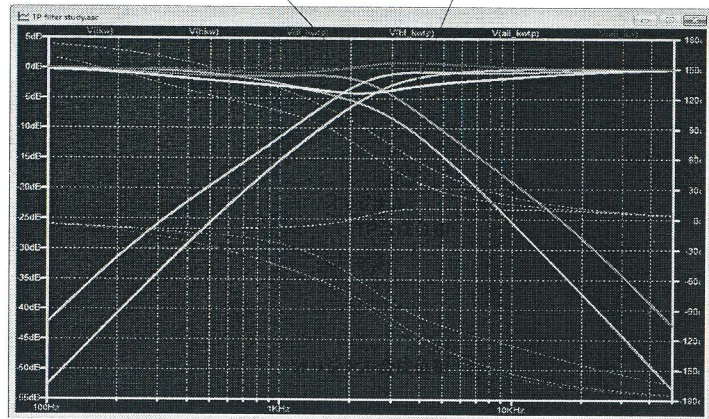


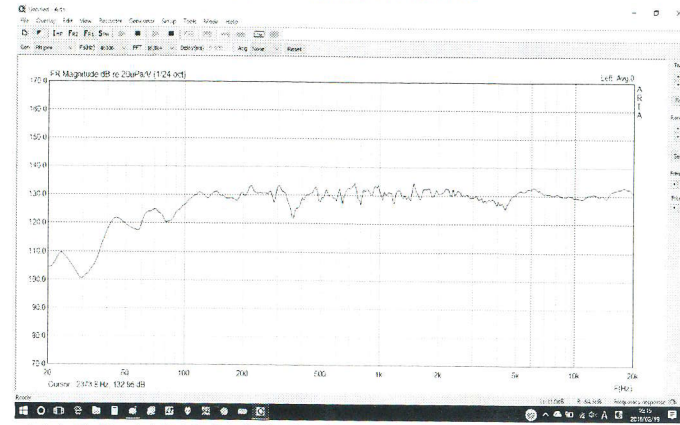
周波数、位相特性のシミュレーション

オリジナル合成レベル TP合成レベル



クロスでの重なりが増える。合成レベルのミッドが下がる。合成位相は10度以内

Near TP 周波数特性測定

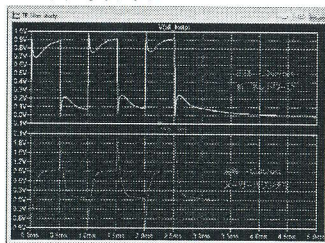


大きなDip/Peakもなく素直な特性(オリジナルも似た特性)

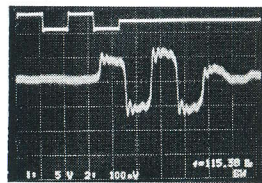
方形波トランジェントでのシミュレーションと測定

Spiceによるシミュレーション

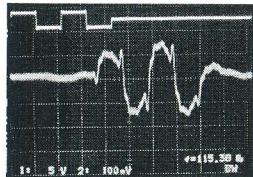
上: NearTP実験構成  
下: オリジナル



NearTP実験(上:ドライブ、下:音圧)



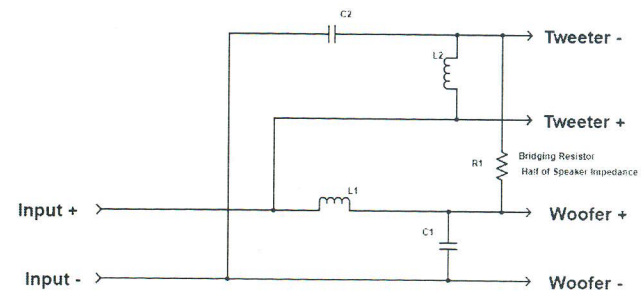
オリジナル(上:ドライブ、下:音圧)



結果:

ほぼシミュレーションどおりの波形となった。  
方形波(に近い)再生ができるようだ。

Near TP 2Way 2次ネットワーク



2Way near\_TP Xover  
Designed by Tetsuo Ohira

- LCの値は通常の2次フィルタ(バターワース、ベッセル、リンクウイツツライリー)で可。
- Bridging 抵抗はスピーカーインピーダンスの半分程度で、電力型が好ましい。
- スピーカー側極性に注意。